

第3回 東京2025デフリンピックに係る大会準備実務者会議 議事次第

日時：令和8年1月23日（金） 10：00～

場所：東京都庁第一本庁舎 33階 特別会議室 N3

- 1 大会の振り返り（東京都スポーツ文化事業団デフリンピック準備運営本部）
- 2 大会の振り返り（全日本ろうあ連盟デフリンピック運営委員会）
- 3 大会の振り返り（東京都）

東京2025デフリンピック 大会の振り返り

【東京都スポーツ文化事業団デフリンピック準備運営本部】

- 情報保障に配慮した競技会場運営やきめ細やかな選手向けサービスの提供等、
協賛企業をはじめとする様々な方々の協力を得ながら、質の高い大会運営を実現できた。
大会を通じて得た経験・ノウハウ等をレガシーとして継承していく。
 - **競技運営**（競技団体との連携、デフアスリートに対する情報保障等）
 - **会場運営**（運営事業者との連携、アクセシブル対応、混雑対策等）
 - **運営本部・リエゾン**（関係者間の情報共有体制、各国選手団との連絡体制等）
 - **宿泊・飲食・IDカード**（宿泊施設でのサービスデスク設置、飲料・補食サービス等）
 - **輸送**（輸送ハブの設置、協賛車両の活用等）
 - **開閉会式**（子供たちの参画、開閉会式会場における情報保障等）
 - **VIP・セキュリティ**（競技御覧やVIP対応の準備運営、警視庁との連携等）
 - **メディカル**（運営本部と各会場の医療救護体制、聴力検査、アンチ・ドーピング等）
 - **スタッフ**（ボランティア、手話言語通訳者、大会サポートスタッフ（筑波技術大学、協賛企業）等）
 - **メディア**（メディアセンターの運営、ホームページ・競技動画配信等の広報発信等）
 - **協賛**（大会への企業等の参画促進、協賛者からの物品・サービス提供等）
 - **財務**（適正な契約手続、大会参加料の徴収や予算執行等）
 - **監査**（大会期間中の監査等）
 - **ガバナンス**（役員等の適切な選任、コンプライアンス教育の実施、利益相反管理の徹底等）

東京2025デフリンピック 大会の振り返り

【全日本ろうあ連盟運営委員会】

- 国際手話通訳者及びペアで活動する日本手話言語通訳者の人材発掘と質の向上が図られ、大会運営に貢献する人材を育成することができ、また、全国の気運醸成活動により、大会の盛り上げに繋がった
 - **ICSD窓口**（ICSDや各国選手団との連携、連絡調整）
 - **国際手話通訳者等養成**（国際手話通訳者と日本手話言語通訳者の人材養成を実施）
 - **手話言語解説者養成**（日本手話言語解説および日本手話言語通訳者の養成等）
 - **全国気運醸成「イベントキャラバン」**（デフリンピック応援イベントを全47都道府県で実施）
 - **全国気運醸成「学校キャラバン」**（ろう学校や小中学校へのデフアスリート等の派遣等）
 - **全国気運醸成「キャラバンカー巡回」**（PRラッピングカーを2台により全47都道府県を巡回）
 - **ろう学校観戦サポート**（全国ろう学校のうち希望する学校を対象に、競技観戦の機会を提供）

【東京都】

- 大会の開催を契機に、気運醸成、ユニバーサルコミュニケーション（UC）の促進、子供の参画など、デフスポーツへの理解のすそ野を広げ、障害のあるなしに関わらず、互いの違いを認め、尊重しあう**共生社会づくりに貢献するための取組**を展開
 - **気運醸成**（一貫性をもって、様々な団体と連携して取り組んだことで、都内の認知度が73.1%に上昇等）
 - **UCの促進**（みるカフェ、みるTechなど様々な場面で有用性をPRし、デジタル技術の社会実装を推進等）
 - **子供の競技観戦・体験活動事業**（学校等と密に連携し子供達に共生社会の大切さを学ぶきっかけを提供等）